

平成20年度市政懇談会での意見と回答

■総合政策

意見等の内容	回答	担当課
<p>・総論としては理解できるが選択と集中をする場合、何を削減するのか具体的に示してほしい。 ・おだやかな合併といわれているが、本当にどうなのか。たとえば、支所や参与も必要か。合併前のしほりについて、今も必要と考えることはなく改革をお願いしたい。</p>	<p>・南丹市を取り巻く状況を十分に理解し、今後の事業展開も含めて総合的に事業の再構築(選択と集中)をすすめていく考えです。その手法の一つとして、本年度から行政評価の取り組みをすすめ、行政外部の意見や市民の声も勘案した行財政改革を進めています。</p>	<p>総合政策課</p>
<p>・人口について、京都縦貫自動車道の開通・JR複線化も完成しつつあるが、平成20年6月と平成18年6月を比較すると960人の減となっている。反面、世帯数は増加しているが、原因は何か。</p>	<p>・人口が減少しているにもかかわらず、世帯数が増加している要因については、世帯分離が進んでいることによるものと考えられます。</p>	<p>市民課</p>
<p>・合併して2年あまり経過する中で、行政に携わる方々として、やっぱり合併してこういうところがよかったと思える具体的なことがあれば聞かせていただきたい。</p>	<p>・市民の一体感を熟成する地域情報基盤の整備を全市に拡大したこともひとつで、旧町のままでは解決が困難な、または時間のかかる課題を南丹市になったからこそ進められたもの、例えば、放って置くと、次の世代に何十億円という大きな負担を強いる土地開発公社の長期債務の解消に向けて着手できたこともそのひとつです。</p>	<p>総合政策課</p>
<p>・合併協議において総合支所を10年間残すことが約束されていたが、行財政改革の中で職員が削減された。この広範な地域の住民の声を市政に反映させるために、次回選挙においても旧町割の小選挙区制を継続願いたい。</p>	<p>・小選挙区は合併協定では、新市発足時のみとなっています。次回選挙にむけて、現議員でも協議がされます。</p>	<p>議会事務局</p>

<p>・先日も差別事象が発生したと聞いたが、市としてどのような啓蒙啓発をされているか。</p> <p>・南丹管内でも新たな差別事象が発生したが、地域の人権研修に市幹部職員の出席がない。人権研修に市職員の参加を促して欲しい。</p>	<p>・本年7月、昨年の差別落書きに続き、賤称語を用いた、卑劣で悪質な「差別ハガキ」が南丹市内の公共施設に送られていたのが発見されました。こうした行為は、人の心に痛みと苦しみを与える人権侵害であり、差別のないまちづくりを推進している市民一人一人にとって、断じて許せない行為です。</p> <p>市としては、市民一人一人が差別を絶対に許さないという共通認識を深めていただくために、人権教育・啓発推進協議会の広報誌「ひびき」において啓発を行うとともに、人権啓発推進員さんの研修会において、事象の報告をし、各地区での研修会の実施をお願いしたところ です。</p> <p>南丹市では、本年3月に同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決に向けての啓発指針となる「南丹市人権教育・啓発推進計画」を策定しましたが、今後は、この計画に基づき南丹市人権教育・啓発推進協議会との連携の下、市民一人一人の人権が尊重される差別のないまちづくりをさらに推進します。</p> <p>また、市職員については、率先して市民の皆さんの先頭に立って人権問題に取り組むとともに、研修にも積極的に参加する責務があると考えます。ご指摘いただきましたことについては、職員に徹底します。</p>	市民課
<p>・地域活性化のため、旧町上げて様々なイベントが行われてきたが、高齢化等により人が少なくなりイベントを実施することが難しくなってきた。職員もボランティアとして積極的に協力していただけるよう市長のリーダーシップにより職員参画の体制作りを確立して欲しい。</p>	<p>・職員のイベントへの参加は当然のことだと考えています。日々の本業もあるので、個々のケースで対応させていただきますが、できる限り参加できる体制にも努めます。</p>	人事秘書課
<p>・小山東地区には官庁機関が多いが、税務署等から区費はもらっていない。消防の維持管理費用も嵩むため、官公庁も区費を払うよう行政指導して欲しい。</p>	<p>・他の官公庁に区費を払わせるような行政指導はできませんが、南丹市役所については、精査し調査・検討します。</p>	総務課